

## 資料

### 国立西洋美術館新館建設計画

国立西洋美術館は、昭和34年にフランス政府から寄贈された旧松方コレクションの作品 371 点をもって開館したが、その後系統的に作品収集を行い、現在では 644 点の所蔵作品を数えるに至っている。

一方、その間事業面では特別展と所蔵品による常設展示とを交互に実施しながら西洋美術の普及活動を続けてきたが、所蔵作品の増加に伴う充実した常設展示を行うためには、会場が狭すぎたり、特別展と常設展示との同時開催が不可能であるなどの理由から、新館建設の必要が早くから痛感されてきた。

懸案解決の足がかりとして、昭和 42、43 年度に用地取得の予算 166,983 千円が認められ隣接地 2,208 m<sup>2</sup> を取得、昭和 50 年度に至り、調査及び基本設計の予算 20,090 千円が認められ、ようやく計画実現の運びとなった。

#### 1 調査委員会の開催

新館の基本構想について意見を求めるため、文部省、文化庁、建設省関東地方建設局等の関係者と、美術、建築の学識経験者等12人に委嘱して、昭和50年5月20日調査委員会を開催し、およそ次のような基本構想に基づいて基本設計を行うことに決定した。調査委員会委員（五十音順）

磯村光男	東京都副知事
犬塚恵三	法政大学教授
内山 正	文化庁次長
柏木健三郎	文部省教育施設部長
鹿海信也	文化庁文化部長
関野 克	東京国立文化財研究所長
高階秀爾	東京大学助教授
登石健三	東京大学講師
富永惣一	評論家
橋本 真	文化庁文化部文化普及課長
益田義信	日本美術家連盟理事
森田 稔	建設省関東地方建設局営繕部長

#### 2 新館の基本構想

##### (1) 規模

鉄筋コンクリート造（一部鉄骨を含む）

地上2階地下2階（一部地下中1階を含む）耐火造とする。

建面積 約1,455m<sup>2</sup>

延面積 約5,000m<sup>2</sup>

##### (2) 新旧両館の一体化

本館と新館を一つの美術館として一体化させるため、本館の一部をエントランスロビーに改造し、このロビーから渡り廊下で新館につなぐ。渡り廊下の連繋により新旧両館の展示室を一連の展示空間として効果的に使用できるようにすること。

##### (3) 作品保管、空調等管理設備の集中

- イ 作品の搬出入施設と収蔵庫はすべて新館に集中させること。
- ロ 新館に設けられた空調、電気、給排水の設備に対し監視盤を既存機械室に付設すること。
- ハ 防災・防盜設備についても、既存監視盤に付加して新館監視盤を増設すること。

##### (4) 自然光による照明

当館の展示作品は、ルネッサンスの初めから19世紀後半に至るまでの比較的古い時代に属するものが主体であり、その鑑賞には自然光をベースにすることが望ましい。自然光の採光方式は、光量及び色温度の調節に最も効率的なガラス屋根とし、天井部分に光量調整のための絞り機構を設けること。

#### 3 基本設計

上記基本構想に基づき、昭和50年7月12日付で前川国男建築設計事務所と設計契約を締結し、昭和51年3月5日、基本設計を完了した。

#### 4 昭和50年度予算

(1) 基本設計料	19,870千円
(2) 調査委員会経費	97千円
(3) 調査旅費	123千円
計	20,090千円

## 昭和50年度主要記事

昭和50年

- 4月1日 国立西洋美術館観覧規則の一部改正  
国立西洋美術館評議員会評議員委嘱  
国立西洋美術館新館建設調査委員会  
委員委嘱
- 4月2日 国立西洋美術館協会からカレル・N・  
フィッサー作版画「16のブロック」及び  
オイヴィンド・ファールシュトレーム作  
セリグラフィー「7つのSOMBA」の寄  
贈を受けた
- 4月4日 ホドラー展(朝日新聞社共催)開会式挙  
行
- 4月30日 英王室秘蔵素描展(文化庁, 東京国立博  
物館国立西洋美術館共催)開会式挙  
行(会場 東京国立博物館)
- 5月1日 山田館長, エリザベス女王から名誉大英  
勲章(Commander of the Order of the  
British Empire)受賞
- 5月16日 美術作品購入選考委員会並びに同価格審  
査委員会開催, 4点の購入決定  
15世紀フランドル派作 油彩「悲し  
みの聖母」  
ウジェーヌ・ドラクロワ作 油彩「墓  
に運ばれるキリスト」  
コルネイユ・ヴァン・クレーヴ作 ブ  
ロンズ「ヴィーナスとキューピッド」  
コルネイユ・ヴァン・クレーヴ作 ブ  
ロンズ「プシュケとキューピッド」
- 5月20日 国立西洋美術館新館建設調査委員会開催  
新館建設の基本構想かたまる
- 5月25日 ホドラー展終了
- 6月1日 英王室秘蔵素描展終了
- 6月12日 梅原龍三郎氏からビエール・オーギュ  
スト・ルノワール作 油彩「ルーベンス作  
マリー・ド・メディシスの模写」, 「キ  
ュクラデス彫刻」石彫の寄贈を受けた
- 6月13日 水嶋徳藏氏からジョン・E・ミ  
レース作

「あひるの子」油彩の寄贈を受けた

- 7月6日 無料観覧日実施
- 7月9日 文化庁からビエール・オーギュスト・ル  
ノワール作「風景の中の三人」油彩の管  
理換を受けた
- 7月11日 国立西洋美術館所蔵美術作品等の分類基  
準の制定
- 7月12日 新館基本設計契約を前川国男建築設計事  
務所と締結する
- 8月3日 無料観覧日実施
- 9月7日 ”
- 10月7日 ”
- 10月24日 英国の肖像画展開会式挙  
行
- 10月30日 松方コレクション地方巡回展(山形)開  
会式挙行(会場 山形美術博物館)
- 11月21日 英国の肖像画展御観覧のため, 秩父宮妃  
殿下, 三笠宮妃殿下, 同容子内親王殿下  
御来館
- 11月30日 松方コレクション地方巡回展終了
- 12月1日 国立西洋美術館特別観覧規則の一部改正
- 12月14日 英国の肖像画展終了

昭和51年

- 1月10日 本館展示場非常放送設備工事完了
- 1月14日 昭和51年度開催の「全米美術館収集世界  
名作展」打合せのため, 日米文化教育会  
議米側博物館交流小委員会委員長シャ  
ーマン・E・リー氏(クリーヴランド美術  
館長)が来日。文化庁, 国立西洋美術館,  
東京国立博物館及び京都国立博物館の関  
係者と当館会議室で合同会議開催。開催  
要綱かたまる。
- 2月1日 無料観覧日実施
- 2月16日 美術作品購入選考委員会並びに同価格審  
査委員会開催, 3点の購入決定  
フィリップ・ド・シャンパーニュ作  
油彩「マグダラのマリア」, フランソ  
ワ・ブーシェ作 素描「へべ」, ジョ  
ルジュ・ルオー作 油彩「リュリュ  
(道化の顔)」

- 3月5日 新館基本設計完了
- 3月15日 国立西洋美術館所蔵作品等の分類基準の一部改正
- 3月17日 国立西洋美術館評議員会開催
- 3月22日 文化庁からクロード・ロラン作 油彩「踊るサテュロスとニンフのいる風景」の管理換を受けた。

## 規則の制定・改正

昭和50年4月1日 「国立西洋美術館観覧規則」の一部改正  
(改正要旨)  
優待券の有効期間を1年から2年に改め煩瑣な手続を改善するものである。

昭和50年7月11日 「国立西洋美術館所蔵美術作品等の分類基準」の制定  
(制定要旨)  
従来から行われている収蔵品の分類方法(種類・記号・番号)を改善するとともに成文化して作品管理の万全を図る。

昭和50年12月1日 「国立西洋美術館特別観覧規則」の一部改正  
(改正要旨)  
従来、特別観覧を許可するに当っては、特別観覧券を交付していたが実情にそぐわないので、許可書を交付する制度に改め、それに伴う必要な改正を行う。

昭和51年3月15日 「国立西洋美術館所蔵美術作品等の分類基準」の一部改正  
(改正要旨)  
分類表の種類を簡略化するための必要な改正を行うとともに作品に付する記号番号のうち「暦年」を「会計年度」に改める。

### 1. 昭和50年度歳入実績額

項 目	金額 (単位 円)
1. 建物及物件貸付料	218,341
2. 版權及特許権等収入	410,250
3. 入場料等収入	32,342,620
4. 講 習 料	20,000
5. 不用物品売払代	3,263
計	32,994,474

### 2. 昭和50年度歳出予算額

項 目	金額 (単位千円)	前年度比較増△減額(単位千円)
1. 人 件 費	113,097	27,665
2. 庶務部運営	12,793	2,239
3. 事業部運営 (美術作品購入)	136,052 (123,000)	18,114 (17,500)
4. 特 別 展	40,165	7,660
5. 施設設備整備	3,111	△ 680
6. 新館建設調査	20,090	20,090
計	325,308	75,088

### 3. 昭和50年度観覧者一覧表——次ページ

### 4. 所蔵作品一覧

(昭和51年3月末現在)

	当初所蔵松方コレクション	購 入	寄 贈	管理換	小 計	寄 託
絵 画	194	30	27	4	255	31
素 描	80	10	7	1	98	8
版 画	24	49	36	0	109	0
彫 刻	63	10	10	0	83	5
工 芸	0	0	1	0	1	1
その他の資料	10	87	1	0	98	0
計	371	186	82	5	644	45

### 3. 昭和50年度観覧者一覧表

	開催 日数	個人観覧			団体観覧			無料 観覧日	優待 招待	合計	一日平均 観覧者数
		一般	学生	小人	計	一般	学生				
平常展	180	109,245	42,552	25,155	176,952	1,397	5,582	15,845	22,824	212,927	1,182
特別展 ホドラー展	44	53,067	28,574	4,032	85,673	222	4,032	19,951	24,205	18,277 (789)	2,912
特別展 「英国の肖像画」展	44	23,655	11,973	2,923	38,551	201	2,762	2,176	5,139	3,023 (460)	1,061
計	268	185,967	83,099	32,110	301,176	1,820	12,376	37,972	52,168	387,795 (1,249)	
巡回展・松方コレ クション展(山形)	30	41,238	8,237	12,703	62,178	30,786	8,574	11,311	50,671	2,774	3,854
合計		227,205	91,336	44,813	363,354	32,606	20,950	49,283	102,839	503,418 (1,249)	

(注)「優待・招待」欄の( )数は、特別招待日の入場者数を示す外数である。

## 職員名簿

昭和51年3月31日現在

### 国立西洋美術館評議員会評議員

(五十音順)

東京国立近代美術館長  
安達 健二

財団法人 社会教育協会理事長  
有光 次郎

ブリヂストンタイヤ株式会社社長  
石橋幹一郎

東京都副知事  
磯村 光男

評論家  
今泉 篤男

京都国立近代美術館長  
河北 倫明

東京国立博物館長  
斎藤 正

日本芸術院長  
高橋誠一郎

評論家  
谷川 徹三

株式会社丸善相談役  
司 忠

杏林大学理事  
寺中 作雄

評論家  
富永 惣一

神奈川県立近代美術館長  
土方 定一

建築家  
前川 国男

国際文化会館理事長  
松本 重治

東海大学教授 東京大学名誉教授  
吉川 逸治

日本学士院会員 東京大学名誉教授  
脇村義太郎

### 国立西洋美術館職員

館長 山田智三郎

次長 土生 武則

#### 庶務課

庶務課長 新山 忠弘

庶務課課長補佐 山本 昌志

庶務係長 西山 博

福祉主任 舟橋さち子

戸松 靖子

湯口太多史

守衛長 浜田 孝

樋口 泰一

山王堂正行

井上武運児

羽山 正公

石井 茂夫

内藤 満枝

経理係長 白石 治美

須田 文子

市川 勇

古山 則夫

小林江考子

用度係長

田島 庄平

肥後 豊司

太田原 武

白倉 由夫

大竹 乙弘

小宮 勝男

平山 節子

長島 武夫

#### 事業課

事業課長

穴澤 一夫

(併)主任研究官  
(東京芸術大学助教授)

佐々木英也

渉外調査係長

越 宏一

生田 圓

陳列保存係長

八重樫春樹

(併)

長谷川三郎

普及広報係長

千足 伸行

長谷川三郎